

子どもが伸びるチャンスを活かそう

青少年育成アドバイザー養成講習会 【令和6年度募集要項】

1. 趣 旨 今日少子高齢化、高度情報通信化、経済のグローバル化、格差の増大などが目立ち
青少年においても、規範意識の低下、問題行動の多様化、社会性の未熟、親子関係の
希薄化、虐待や SNS 被害の増加、ニート・引きこもりなど自立できない若者など様
々な問題が生じ、新しい青少年育成が課題となっています。そこで、青少年の心身の
発達過程を理解し、その健やかな成長と自立を支援するための専門的な知識や技術を
学び、地域における日常的な各種青少年育成活動の中核となる指導者を養成します。

2. 期 日 令和7年2月22日(土)～24日(月)【2泊3日】

〔受付：2月22日 12:45～〕

3. 会 場 国立オリンピック記念

青少年総合センター(センター棟)

〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町 3-1

TEL03-3467-7201 (代)

アクセス：小田急線 参宮橋駅(新宿より2駅)

下車 徒歩7分

ウェブページ：<http://nyc.niye.go.jp/>

※ 会場の駐車場は有料で限られております。

公共交通機関でお越し下さい。

4. 対象者

①青少年の育成指導・教育・支援等幅広く青

少年に関わる活動や仕事をしている人

②青少年指導者としての基礎知識や今日の青少年を理解する手掛かりを学びたい人

③住んでいる地域をいきいきとさせる手掛かりや相談・助言について学びたい人

5. 募集定員 70名〔申込締切は令和7年1月22日(水)迄〕

6. 参加費 18,000円(2泊3日の研修費8,000円、食費6,000円、宿泊費4,000円)

※ 宿泊・食事は研修会場です。払込方法は申込後に別途連絡します。

特別な理由により宿泊先を別にされる方はお知らせ下さい。(参加費14,000円)

7. 主 催 全日本青少年育成アドバイザー連合会

8. 主 管 青少年育成アドバイザー東京会

9. 協 力 全国青少年育成県民会議連合会(予定)

10. 後 援 文部科学省(予定)

こども家庭庁支援局(予定)

一般社団法人全国社会教育委員連合(予定)

社団法人全国元気まち研究会(予定)



11. 研修日程と内容 予定

日（曜）	プログラム	内 容	担 当
22日 （土）	開講式 13:00～13:20	主催者・来賓挨拶 オリエンテーション	主催者 後援者
	1. 講義 13:20～14:20	青少年育成アドバイザーの活動について考えます	全日本青少年育成アドバイザー -連合会顧問 山本邦彦
	2. 講義 14:30～15:40	放課後に子どもが安心して伸びやかに すごせる居場所づくりを考える。	放課後NPOアフタースクール 本部マネージャー 柏木可奈子
	3. 演習 15:50～17:20	“青少年のためのSDGsとは”私達 がすべきこと、できることを学ぶ。	NPO法人しんせい理事 小針 丈幸
	4. 講義 18:30～20:00	年代別に抱える問題傾向とその家 族の心にも寄り添う姿勢を学びま す。	青山学院大学教授 小俣 和義
	5. 課題別研究 （課題提起） 20:10～21:00	各グループ：自己紹介で活動状況を出 し合い、グループとしての課題や問題 を明確にしてまとめます。	助言者：福留 強 下田 太一・渡部 純夫 小俣 和義
23日 （日）	6. 講義 8:40～10:10	進化するインターネット社会の現状を 知り、青少年育成者はどのように向き 合い対応すればよいか学びます。	NPO法人青少年メディア 研究協会理事長 下田 太一
	7. 講義 10:20～11:50	まちづくりと青少年育成活動を相 互作用的にコーディネートする着 眼点や留意点を学びます。	聖徳大学名誉教授 社団法人全国元気まち 研究会会長 福留 強
	事務連絡 12:50～13:20	事務局からの連絡案内 写真撮影	主催者
	8. 演習 13:20～14:50	心を引き出す面談や対応、カウンセリ ングの演習を学びます。	東北福祉大学教授 渡部 純夫
	9. 講義 15:00～16:30	青年期に見られる精神疾患の理解と向 き合い方について学びます。	あさか台相談室室長 藤本 裕明
	10. 課題別研究 （解決策を討議） 16:50～18:50	⑤で明確化した問題や課題を深め解決 や対策の方向性を検討します。	助言者：福留 強 下田 太一・藤本 裕明 渡部 純夫
24日 （月）	11. 課題別研究 （解決案をまと める） 8:30～10:20	各グループでテーマを絞り、おかれた 背景や必要条件を明確にし、具体的方 策を立案、討議してまとめます。	助言者：福留 強 下田 太一 渡部 純夫
	12. 全体会 （各班の発表） 10:20～11:20	各グループで立案した方策を発表し、 講師からのアドバイスを参考に明日か らの活動を明確にします。	助言者：福留 強 下田 太一 渡部 純夫
	閉講式 11:20～11:50	挨拶と修了証授与。	主催者

※ 講師等の都合によりプログラムが変更になる場合があります。

※ 23日は19:00から全体交流会兼夕食を行う予定です。

12. 参考テキスト

青少年育成アドバイザー入門講座・通信講座でお使い頂いた“アドバイザーの入門書『子ども若者と共に』 ¥1,000- 『共に育つ喜び（事例集）』 ¥1,000-

をご持参下さいますようお願い致します。まだお持ちでない方は会場でも販売しております。

13. 課題選択

研修内容をより深める為に課題別に分かれ意見交換やグループワークを行います。

希望課題番号を下記より選び“申込書”に記入下さい。

記入が無い場合は、こちらで割り振りを致します。

- ① 全ての青少年(虐待・不登校・精神疾病・非行等を含)が立ち寄れる居場所造りやその対応・向き合い方を考える。
- ② 急激な進化拡大化が進むインターネット社会、その中で育っている青少年達をどう捉えて向き合い対応していくか、具体策を考える。
- ③ 価値観の多様化や地域連帯感の希薄化、少子高齢化や青少年問題の多様化の中で、青少年健全育成活動をどうデザインするかについて考える。

14. 修了証

この講習会において①～②全単位の修了者には修了証を発行いたします。

この講座は既青少年育成アドバイザーのフォローアップ研修も兼ねています。

【講習会お問い合わせ】

全日本青少年育成アドバイザー連合会

事務局長 清水 成眞 携帯：090-2000-0286

養成講習会事務担当 配島 裕美 携帯：080-5014-8085

■ 全日本青少年育成アドバイザー連合会及び青少年育成アドバイザーについて

全日本青少年育成アドバイザー連合会は、都道府県青少年育成アドバイザー会をまとめる全国組織として平成9年9月に発足、会員数約1,300名です。“子どもが伸びるチャンスを活かそう”などをスローガンとした育成課題の全国研究集会なども行っています。

青少年育成アドバイザーは、(旧)社団法人青少年育成国民会議による「青少年指導者のための通信教育」、全日本青少年育成アドバイザー連合会が主催する「養成講習会」を受講した者の中から、青少年育成活動の分野において専門的知識及び経験を有する青少年育成指導者として連合会が認めた者としてします。

会長 香川 勝 〒761-2407 香川県丸亀市綾歌町

事務局長 清水 成眞 〒682-0132 鳥取県東伯郡三朝町

■ 青少年育成アドバイザー東京会について

昭和55年に発足し、現在会員数は20名。地域の育成団体や育成者とのネットワークづくりや資質向上の勉強会、地域の「隣のおじさんおばさん運動」として子どもの見守り、青少年の自立支援や子育て支援活動とともに悩み相談に対する助言などを行っています。

会長 溝口泰志 〒132-0024 東京都江戸川区一之江

令和6年度青少年育成アドバイザー養成講習会申込書

【申込方法】下記の事項の記入要領で、FAXでお申込み下さい。

FAX先 044-933-8568 配島 裕美 宛

(令和7年1月22日(水)までにお申込み下さい。)

(ふりがな) 氏 名			性別 男 ・ 女	生年月日 昭和・平成 年 月 日
住 所	〒			
所 属 (団体・職場)			電話番号 (携帯)	
Eメールアドレス			FAX	
課題選択 宿泊手配 備 考	希望課題選択 (P.3 13参照) 1.居場所造り 2.インターネット 3.地域と青少年	宿泊先の手配 (○をして下さい) 1.主催者手配希望 2.自分で手配する 理由：	備考 1.新規受講者 2.県アドバイザー 入門コース修了 3.通信入門講座修了 4.フォローアップ研修	

- ※ ご記入頂いた個人情報は本講習会の運営及び認定に関する事以外では使用致しません。
- ※ 生年月日の記入は養成講習会参加者全員に保険をかけますのでご記入をお願いします。
- ※ 申込書が不足する場合はコピー 又は アド連HPからダウンロードして下さい。

【この講習会は国立青少年教育振興機構の助成を受けています】


 National Institution For Youth Education
 独立行政法人 国立青少年教育振興機構
 「子どもゆめ基金助成活動」

体験の風を
おこそう